

みんなが「自分らしく生きる」ための人権とは？

12月4日（月）～10日（日）の人権週間に合わせ、人権集会を行いました。人権集会では、校長による人権に関する講話と生徒会執行部による人権に関する劇を行いました。

校長講話は、社会問題から世界の人権について考えたり、先日行われた合唱コンクールでの出来事から身近な人権について考えたりする内容のものでした。

合唱コンクールの練習当初、「音程がうまくとれず歌声に自信がないことから、歌うことでみんなに迷惑を掛けたくない」という思いから口パクをし、家に帰ってから合唱の練習をしていたAさんと、合唱コンクールではクラスみんなで歌って、最高の合唱にしたいという思いから、Aさんに対して「口パクせず歌って」と言っていた友達との見方や考え方の違いを紹介しました。

そして、学校という集団生活をする場所では、お互いがうまく折り合いを付けて、より良い関係を作っていくために、「一つの見方や考え方ではなく、その反対の見方や考え方も含めた言葉や言動で友達に関わるとよいこと、そして、自分の考えや思いははっきりと友達に発信していくことが大切である」という話をしました。

また、生徒会執行部による劇では、学校生活の何気ないひとりで友達が傷付いている場面を紹介しつつ、どのような言葉に変えれば友達を傷付けずに済んだのかをグループで話し合い、全校で共有しました。



人権に関する劇をする様子

「自分らしさ」の発揮

先日、本校に地域の方から「主人が道路で動けなくなっていることに気付いた矢田中の生徒が声を掛け、さらに交番まで肩を抱いて連れてってくれました。そのおかげで、今主人は元気に生活できています。どうしてもお礼が伝えたくて電話しました。」という嬉しいお電話をいただきました。

すぐに該当生徒に当時の様子を校長が聞き、感謝を伝えるとともに、終業式で紹介しました。本人たちは「当たり前のことをしました。」と言っていました。困っている人に声を掛けることはできそうでなかなかできることではありません。矢田中学校にはこのように困っている人に自然と声を掛けられる素敵なお子様ばかりです。これもご家庭の皆様もご指導あってのことだと感謝しております。

今後、お子様の良い部分を最大限伸ばしていけるよう尽力していきます。

保護者の皆様へ

さて、明日から冬休みに入ります。学校では、学年集会等で、「冬休みの生活記録」を配付し、冬休みの過ごし方について話をしました。保護者の皆様も「冬休みの生活記録」を一読いただき、お子様と冬休みの過ごし方についてご確認ください。



当時の状況を聞いている様子